

泌尿器科の癌に対する薬物療法に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2024年12月26日 ～ 2029年6月30日

〔研究課題〕

泌尿器癌に対する薬物療法に関する多機関共同研究

〔研究目的・意義〕

近年、泌尿器科の癌は前立腺癌・尿路上皮癌・腎癌のいずれも薬物を使った治療が著しく進歩しています。一方で、これらの薬物療法は短い期間で数多くの種類の治療方法が登場したため、実際の臨床の場での効果や副作用のデータはやや不足しています。そこで今回、複数の機関からデータを集め、効果や副作用を明らかにする研究を企画しました。

〔対象・研究方法〕

2014年1月1日～2024年10月31日の間に当院泌尿器科・男性科で泌尿器科の癌(前立腺癌・膀胱癌・腎癌など)に対して薬物療法を施行された方を対象とします。治療成績、生命予後、治療に伴う有害事象などの臨床経過を明らかにし、統計的な解析を行います。なお、対象には亡くなられた方も含まれます。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部泌尿器科学講座 責任者：中川徹(泌尿器科学講座主任教授)

主任研究施設：東京大学医学部附属病院

他の参加施設：国際医療福祉大学市川病院

〔個人情報の取り扱い〕

氏名・生年月日・住所・電話番号・ID番号などの個人情報はすべて個人が特定出来ない様に加工されてから解析されますので、個人情報が出ることはありません。研究成果は、医学の発展のために学会発表や学術論文発表などをさせていただくことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報はすべて削除いたします。また、研究対象に該当するか否かにより、実際の診療内容に影響はすることはありませんし、研究にご協力していただけない場合でも診療上の不利益を受けることはありません。研究終了後に、加工された情報の対照表およびデータセットは倫理委員会事務局に提出され、帝京大学臨床研究センターにて10年保管の後に廃棄いたします。

対象となる患者様、ご遺族様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：中川徹(帝京大学医学部泌尿器科学講座主任教授)

研究分担者：金子智之(帝京大学医学部泌尿器科学講座准教授)

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表)〔泌尿器科内線 7721〕